

ICT によるコミュニティ基盤の導入について

広報委員長 皆川 勝（常任幹事）

1. 目的

プライバシーポリシーと個人情報保護法を順守し、東京都市大学校友会会員の情報に関わる会員へのサービス向上を図るため、東京都市大学が校友会会員情報基盤データを管理し、校友会との連携活用を推進する。

2. 導入システム

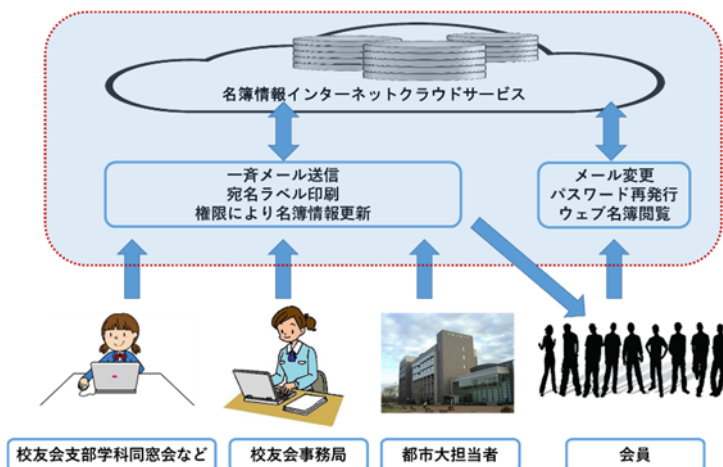
PalSyne（ワンネットシステム㈱提供）

3. 大学と校友会との合意事項

(1) セキュリティの向上、将来像を具現化する可能性を踏まえ、大学が費用負担して大学が名簿システムを管理する。

(2) 名簿データを大学が管理すること、並びに、大学と校友会が連携活用することについて、学長と校友会会長が合意文書を残す。

(3) 必要な機能は、校友会と大学で合意する。会員自らによる名簿データ更新、各種属性での名簿検索、権限付与機能、メール一斉配信機能等が含まれる。



4. 導入システムの主な機能

- 事務局機能：名簿情報管理、宛名ラベル印刷、一斉メール配信、グループ作成・グループ管理者登録、会員データエクスポートなど
- 会員用機能：個人情報の変更確認、パスワード再発行、ウェブ名簿のうち公開情報の閲覧など

5. 導入のメリット

- 常に最新の名簿を大学、校友会事務局、各支部などが活用できる。
- 会員情報を各会員自ら更新できる。
- エクセルなどでのデータのやり取りが減少し、セキュリティが向上する。
- より安全な環境で会員のコミュニケーションが促進され、各種の取り組みが活性化される。

6. 今後のスケジュール

	平成29年				平成30年							
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
会員名簿データを大学へ移管												
システムへ会員名簿データ登録												
事務局による名簿データ運用開始												
会員向けウェブサービス構築												
会員へID及びパスワード通知												
会員へウェブサービス利用普及促進												
会員向けウェブサービス開始												